

(様式2(1))

事業所名 グループホーム和朗園

作成日: 令和 4 年 3 月 4 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「身体拘束適正化のための指針」を整備し、身体拘束を行わないケアを実践している。 月1回はリスクマネジメント委員会の中で、身体拘束適正化検討委員会を実施し(感染状況に応じて書面開催)、周知内容と実施状況の評価とフロアの課題について検討している。委員会の議事録をフロアで回覧し周知を図っているが、周知欄などは設けていない為、より明確に周知・徹底を図る必要がある。	身体拘束等の適正化に向けた周知内容や実施状況等の評価・課題について、従業員への周知状況をより明確にする。	今後も定期的な会議の開催は継続し、身体拘束等の適正化について、事業所全体で情報共有し、不適切な身体拘束等の再発防止や身体拘束等を行わない支援に取り組む。 議事録の回覧については、周知欄を設け、捺印や署名により従業員への周知徹底を行う。	2ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。